



アンビエントをテーマにした視聴覚芸術の展覧会

AMBIENT KYOTO 2023 盛況につき大晦日まで会期延長決定！

最新情報のご案内

- AMBIENT KYOTO 2023 会期が2023年12月31日(日)まで延長決定
- 12/9(土) イギリス BBC RadioにてAMBIENT KYOTOの特集番組 放送決定
- 12/5(火)発売開始。コラボレーションイベント ACTIONS in AMBIENT KYOTO (12/10開催)



Credits [Key Visual] Artwork design by Alex Somers / Logo design by Seri Tanaka

2023年10月6日（金）より京都の2会場を舞台に開催されている、アンビエントをテーマにした音・映像・光のインスタレーション展「AMBIENT KYOTO 2023」より最新情報をお送りします。

2023年12月24日（日）までの会期で実施しておりました「AMBIENT KYOTO 2023」は、ご好評をいただき、会期を1週間延長し、12月31日（日）までの開催が決定しました。また、ご来場くださったみなさまのリクエストにお応えし、オンライン予約時の指定日制限をなくしました。オンラインで予約すれば、どちらの会場からでも、いつでもご来場いただけます。

12月9日（土）には、イギリス BBC Radioにて「AMBIENT KYOTO」にて約2時間の特集番組が組まれます。

12月10日（日）および14日（木）に開催されるコラボレーションイベントの詳細も決定しました。

「ACTIONS in AMBIENT KYOTO」の詳細などは、2P目以降をご覧ください。

イギリス BBC RadioにてAMBIENT KYOTOの特集番組の放送が決定

コーネリアスとテリー・ライリーが選曲したアンビエントミュージックのプレイリストを中心に構成された約2時間の特集番組が放送されることが決定しました。

https://www.bbc.co.uk/sounds/play/live:bbc_6music

コラボレーションイベント 1

ACTIONS in Ambient Kyoto

日時：12月10日（日）18:00-

会場：京都新聞ビル地下1階（地下鉄丸太町駅すぐ）

出演：Marihiko HARA + Akiko NAKAYAMA、Ken FURUDATE + YPY、E.O.U. + Saeko EHARA、
Kazumichi KOMATSU + jvnpey



京都新聞本社ビル地下1階に、坂本龍一+高谷史郎「async - immersion 2023」のために設置された約27m×3mのLEDスクリーン、そして30台以上のスピーカーを用いて展開されるコラボレーション・ライブ・パフォーマンス。

参加アーティストとして、原摩利彦と中山晃子が初のコラボレーションを行うほか、「async - immersion 2023」作品にも参加した古舘健と、YPYこと日野浩志郎がオーディオビジュアルのデュオパフォーマンスを実施。

また、近年クラブ/ライブシーンで大きく注目を集めるE.O.U.のパフォーマンスに、AIとジェネラティブアートを組み合わせたビジュアル作品を発表しているSaeko Eharaが映像で参加します。

現代美術と音楽のフィールドを越えて活動する小松千倫と新進ビジュアルアーティストであるjvnpeyによるコラボレーションパフォーマンスも行われます。

かつての印刷工場というインダストリアルな雰囲気にも満たした広大な空間に、実験的な音響が漂う一晩限りの特別ライブをお見逃しなく。

それに関連し、京都蔦屋でのプレトークイベント、本番後のアフターパーティーがCLUB METROで開催されます。

詳細およびチケット購入方法は、イベントウェブサイトをご覧ください。

<https://interference-resonance.ekran.jp/>

関連イベント PRE TALK - "MUSIC / SOUND / ART"

日程：2023年12月5日（火）19:30-

会場：京都 蔦屋書店 SHARE LOUNGE（京都高島屋S.C. [T8] 6階）

出演：古舘 健 / 日野浩志郎 / 小松千倫

関連イベント ACTIONS in AMBIENT KYOTO - AFTER PARTY

日程：2023年12月10日（日）22:00-

会場：CLUB METRO（京阪神宮丸太町駅2番出口）

出演：Marihiko HARA / Ken FURUDATE / Ken'ichi Itoi / touzin

コラボレーションイベント 2

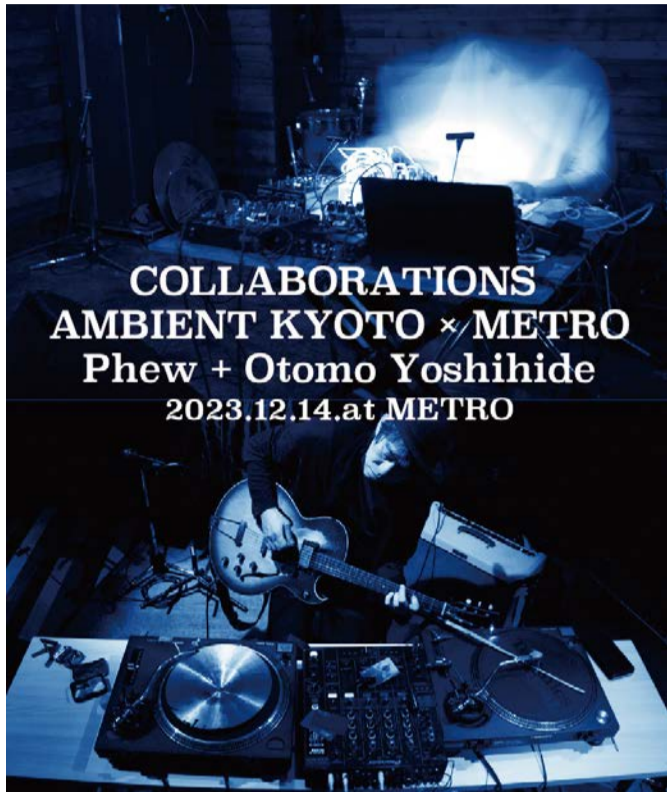
「COLLABORATIONS : AMBIENT KYOTO × METRO」

日時：2023年12月14日(木) 19:00 開場/ 19:30 開演

会場：京都CLUB METRO

出演：Phew + 大友良英

価格：前売メール予約 ¥3,500 ドリンク代別途 特典付、当日¥4,000 ドリンク代別途



京都METROのコラボレーションイベントで、12月14日（木）、Phewと大友良英によるスペシャルなセットが実現します。イギリスの有力音楽誌『The Wire』の表紙を飾るなど、世界的に高い評価を集める国内アンダーグラウンドシーンのディーバ Phewと、大友良英（おおともよしひで）によるスペシャルな一夜になります。

詳細およびチケット購入方法は、イベントウェブサイトをご覧ください。

<https://www.metro.ne.jp/schedule/231214/>

※AMBIENT KYOTOチケットご提示で前売料金でご入場頂けます。

※前売チケット購入、及び前売メール予約者特典として、展覧会『AMBIENT KYOTO』優待ディスカウント券(10%OFF)をプレゼントします。

サウナ 梅湯



サウナの梅湯 x Cornelius

京都の銭湯文化を守る聖地「サウナの梅湯」とコーネリアスが、AMBIENT KYOTO特別企画としてコラボレーション。会期中「サウナの梅湯」、系列店「源湯」「鴨川湯」でコーネリアスが選んだプレイリストが流れます。また、<梅湯xコーネリアスxAMBIENT KYOTO>の特製タオルを、展覧会会場ショップ、梅湯のほか、系列店の「源湯」、「鴨川湯」でも好評発売中。

詳細は下記リンクよりご覧ください。

https://ambientkyoto.com/collaborations/ix_eymbtuc3z

和泉 侃



「聴覚のための香りのリサーチ」

和泉 侃とAMBIENT KYOTOのコラボレーションとして、音楽作品の体感を高めることをテーマに、嗅覚から聴覚へアプローチする香りを制作。本展の展示空間をコンディショニングしています。

その香りは「聴覚のための香りのリサーチ」と名付けられ、AMBIENT KYOTO 2023のオリジナルフレグランスとして会場ショップほかで販売中。

「聴覚のための香りのリサーチ」 ¥5,500 (税込) 制作：和泉 侃 (いずみ かん)

詳細はリンクよりご覧ください。 <https://ambientkyoto.com/collaborations/dr5lnrw9rh>

AMBIENT KYOTO 2023 開催概要

タイトル：AMBIENT KYOTO 2023（アンビエント・キョウト2023）

参加アーティストおよび会場：

〔展覧会〕 坂本龍一 + 高谷史郎：京都新聞ビル地下1階

コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一：京都中央信用金庫 旧厚生センター

〔ライブ〕 テリー・ライリー：東本願寺 能舞台 日程：10月13日（金）、14日（土） 終了

コーネリアス：国立京都国際会館 Main Hall 日程：11月3日（金・祝） 終了

〔朗読〕 朝吹真理子：ポッドキャスト配信

展覧会会期：2023年10月6日（金） - 12月31日（日） 9:00 - 19:00 入場は18:30まで

休館日：11月12日（日）、12月10日（日）

チケット：一般 ¥3,300 / 専・大学生 ¥2,200 / 中高生 ¥1,800 小学生以下無料

※チケット購入ウェブサイト：<https://ambientkyoto.com/tickets>

※京都新聞地下1階のみ、一部無料枠を設けます

Website. <https://ambientkyoto.com/>

Twitter. <https://twitter.com/ambientkyoto>

Instagram. <https://www.instagram.com/ambientkyoto>

Facebook. <https://www.facebook.com/ambientkyoto>

昨年好評を博したBRIAN ENO AMBIENT KYOTOの第二弾「AMBIENT KYOTO 2023」。本年度の会場は広大な印刷工場跡（京都新聞ビル地下1階）と、昨年度も会場となった築93年の京都中央信用金庫 旧厚生センターの2会場で開催します。

京都新聞ビル地下1階の広大な印刷工場跡では、坂本龍一のマスターピース『async』を、長年の盟友 高谷史郎による映像と、ZAKによる立体音響によって完成したサイトスペシフィックな大規模インスタレーション作品《async - immersion 2023》を展示。この場所ではしか実現し得ない、幅26.4mのLEDパネルを使った作品となっています。

京都中央信用金庫 旧厚生センターでは、革新的な作品を生み出し続け、世界的な評価を得てきたアーティスト、Cornelius、Buffalo Daughter、山本精一によるアンビエントをテーマに表現した作品を展示しています。Cornelius、Buffalo Daughterは、既存作品を本展だけの特別演出でインストールしているほか、京都在住のアーティスト山本精一による書き下ろしのアンビエント作品『Silhouette』を映像を伴う作品として初公開。

建物全フロアを、ZAKによる立体音響を軸に、アンビエントな光、映像、霧、そして和泉侃による「聴覚へアプローチする」香りで演出。さまざまな感覚をひらき、全身で楽しめる体験型のインスタレーション作品に創り上げました。

昨年のブライアン・イーノから引き継ぐアンビエント性も継続しながら、本展では「新しいアンビエントの形」を発信していきます。

展覧会会場アクセス

1. 京都中央信用金庫 旧厚生センター



参加アーティスト

コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一

〒600-8219京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

電車：JR京都駅より徒歩5分 / バス：市バス烏丸七条バス停より徒歩1分

2. 京都新聞ビル地下1階



参加アーティスト

坂本龍一 + 高谷史郎

〒604-8567

京都府京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239

地下鉄烏丸線・丸太町駅下車 7番出口すぐ

地下鉄東西線・烏丸御池駅下車 1番出口から徒歩7分

ABOUT AMBIENT KYOTO

アンビエントをテーマにした音・映像・光のインスタレーション展

AMBIENT × KYOTO —— 世界的文化都市・京都を舞台に展開する、アンビエントミュージックの祭典、「AMBIENT KYOTO」。

2回目の開催となる今年は、2023年10月6日（金）より12月24日（日）にかけ、あらたな会場となる京都新聞ビル地下1階に坂本龍一 + 高谷史郎、そして昨年に引き続き築93年の歴史的建築物である京都中央信用金庫 旧厚生センターにコーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一を迎え、音と映像、そして光のインスタレーションが展開されます。

アンビエントと京都の共創

さまざまな解釈をもつ「アンビエント」という言葉。私たちの生活を取り囲んでいるもの、その周囲にあるものが「アンビエント」であり、アンビエント・ミュージックはそれが流れる環境・風土の一部となる音楽ともいえます。変化を続ける社会のなかで、この定義もまた変容し、多様化しつつある現代。「アンビエント」な感性は、これからの人間が環境・地球とどう向き合っていくべきかといった新たな価値観にもつながっています。

アンビエント・ミュージックを拡張する、あらたな視聴覚体験

本展は、京都の風土・文化・人々と共に作りあげ、この地ならではのアンビエント・ミュージックの祭典として世界に発信していきます。それぞれの作品にスペシャライズされた展示室内で音響ディレクターのZAKによって緻密に設計された音空間に包まれ、作品世界を拡張する映像と光の演出によって、私たちを取り囲む気配／空気／雰囲気が変わる、あらたなアンビエント・ミュージックの視聴覚体験となるはずです。

AMBIENT KYOTO CREDIT

展示ディレクション（京都中央信用金庫 旧厚生センター） / 音響ディレクション：ZAK

照明ディレクション / デザイン：高田政義（RYU inc.）

音響：東 岳志、山本哲哉、濱 哲史、渡邊武生、赤川純一、細井美裕、橋本敏邦（T-SPEC）

照明：上田 剛（RYU inc.）

美術造作：土井 亘（dot architects）

舞台監督：尾崎 聡

空間ディレクションアドバイザー（京都中央信用金庫 旧厚生センター）：高谷史郎

香り：和泉 侃

キービジュアル：Alex Somers

アートディレクション：田中せり

デザイン：宿谷一郎、岡本太玖斗

制作：清水聡美、相沢あい

運営統括：糸魚健一

プロデューサー：竹下弘基（TOW）、中村周市（Traffic）

実行委員会ディレクター：磯谷香代子、川崎仁美

プロジェクト・マネージャー：關 秀哉（RYU inc.）

主催：AMBIENT KYOTO 2023 実行委員会（TOW / 京都新聞 / Traffic / 京都アンプリチュード）

企画制作：TOW / Traffic

協力：文化庁 / α-STATION FM KYOTO / 京都 CLUB METRO / 株式会社サンエムカラー / 小川珈琲株式会社 / 株式会社ハッピーマンデー / CCCアートラボ

後援：京都府 / 京都市 / 公益社団法人京都市観光協会 / FM COCOLO

音響機材協賛：Genelec Japan / ゼンハイザージャパン / 株式会社静科 / 株式会社MSI JAPAN大阪 / アビッドテクノロジー / Synthax Japan / Abendrot International LLC / Sonos Japan

映像機材協賛：bricks & company / Magnux

技術協力：パナソニック株式会社

協賛：Square

広報協力：HOW INC.

特別協力：京都中央信用金庫

メディアお問合せ窓口 HOW INC. MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp TEL：03-5414-6405 FAX：03-5414-6406

お客様お問合せ先 AMBIENT KYOTO MAIL: info@ambientkyoto.com

参考資料：作品紹介抜粋 (1/2)

作品およびプロフィールの詳細資料は下記よりご覧ください

https://www.how-pr.co.jp/pressrelease/2023_AmbientKyoto_works.pdf

[京都新聞ビル地下1階]

坂本龍一 + 高谷史郎 | async – immersion 2023



« async – immersion 2023 » photo : Satoshi Nagare

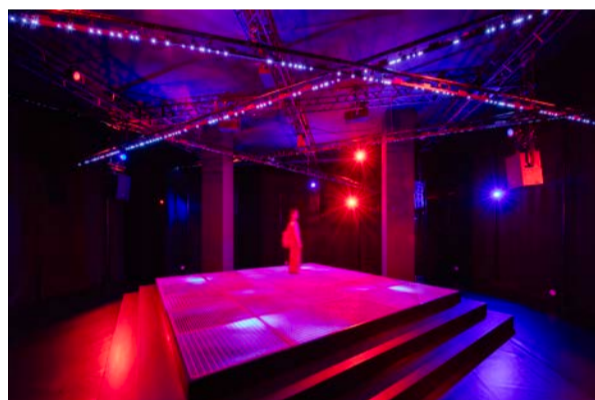
坂本龍一が2017年に発表したスタジオ・アルバム『async』をベースに制作された高谷史郎とのコラボレーション作品の最新版。京都新聞ビル地下の広大な空間を使い展開するサイトスペシフィックなインスタレーション。

映像プログラミング：古舘 健

音響ディレクション：ZAK

[京都中央信用金庫 旧厚生センター] Cornelius (コーネリアス)

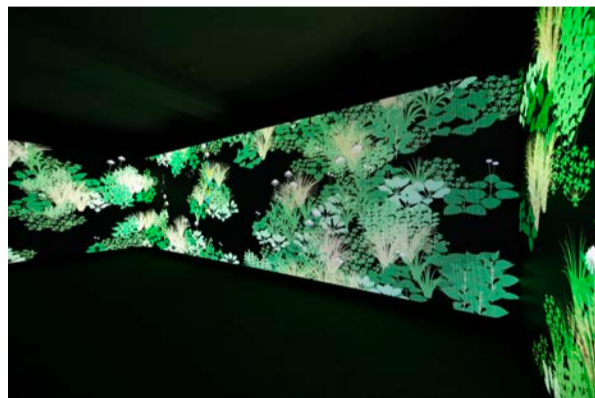
groovisionsによる映像作品や高田政義による照明と、ZAKによる立体音響がシンクロして生み出される視聴覚体験。



« QUANTUM GHOSTS » photo : Satoshi Nagare

QUANTUM GHOSTS (1F展示室 / 4:24min)

本館で最も大きな展示室で行われる、360度に配置された20台のスピーカーから鳴らされる音像と、高田政義による照明がシンクロする作品。音楽は7inchシングル「火花」のカップリング曲。



« TOO PURE » photo : Satoshi Nagare

TOO PURE (2F展示室 / 3:31min)

groovisions制作の映像作品が立体スクリーンに映し出される、7.1chの音と映像の作品。音楽は、最新アルバム『夢中夢 -Dream In Dream-』収録曲。



« 霧中夢 - Dream in the Mist - » photo : Satoshi Nagare

霧中夢 - Dream in the Mist - (3F展示室 / 7:00min)

特殊演出による霧と、照明、音が相互作用しあう空間。
音楽は、アルバム『夢中夢 -Dream In Dream-』収録曲。

Loo

展示室以外の会場の空間で、本展のために書き下ろされた新曲をお楽しみいただけます。

参考資料：作品介绍 (2/2)

[京都中央信用金庫 旧厚生センター] Buffalo Daughter (バッファロー・ドーター) / 山本精一

バッファロー・ドーター、山本精一の作品は、会場3Fの同じ展示室内で展示されます。向かい合わせに設置された、音を透過する特殊スクリーンで斜めに仕切られた空間に、ZAKによって立体音響化された音と、イメージを拡張させる映像インスタレーションが展開します。

Buffalo Daughter



«Everything Valley» photo : Satoshi Nagare

Everything Valley (3F展示室/5:58min)

映像はクリエイター 住吉清隆による作品。

音楽は、最新アルバム『We Are The Times』に収録されている。

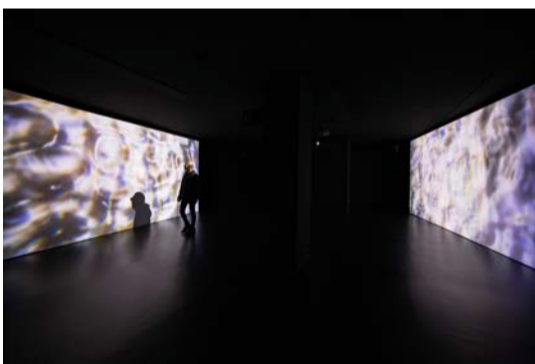


«ET (Densha) » photo : Satoshi Nagare

ET (Densha) (3F展示室/6:19min)

映像はベルリン在住の映像／音響アーティスト 黒川良一による作品。音楽は、最新アルバム『We Are The Times』に収録されている。

山本精一



«Silhouette» photo : Satoshi Nagare

Silhouette (3F展示室/14:23min)

映像は、リキッド・ライティングの手法を用いた ビジュアル・アーティスト 仙石彬人と山本精一による共同制作作品。音楽は、本展のために書き下ろされたアンビエントな新曲。

[朗読] 朝吹真理子



ポッドキャスト配信。デビュー作『流跡』全編の著者自身による朗読をオーディオブックとして楽しめる。

<https://ambientkyoto.com/reading>